

令和 4 年度在宅医療・介護連携推進事業
取組状況結果

〔公開資料〕

令和 5 年度 第 1 回大阪市地域包括支援センター運営協議会

令和5年7月24日

大阪市健康局 健康推進部健康施策課

令和5年7月24日開催
令和5年度 第1回
大阪市在宅医療・介護連携推進会議資料より抜粋

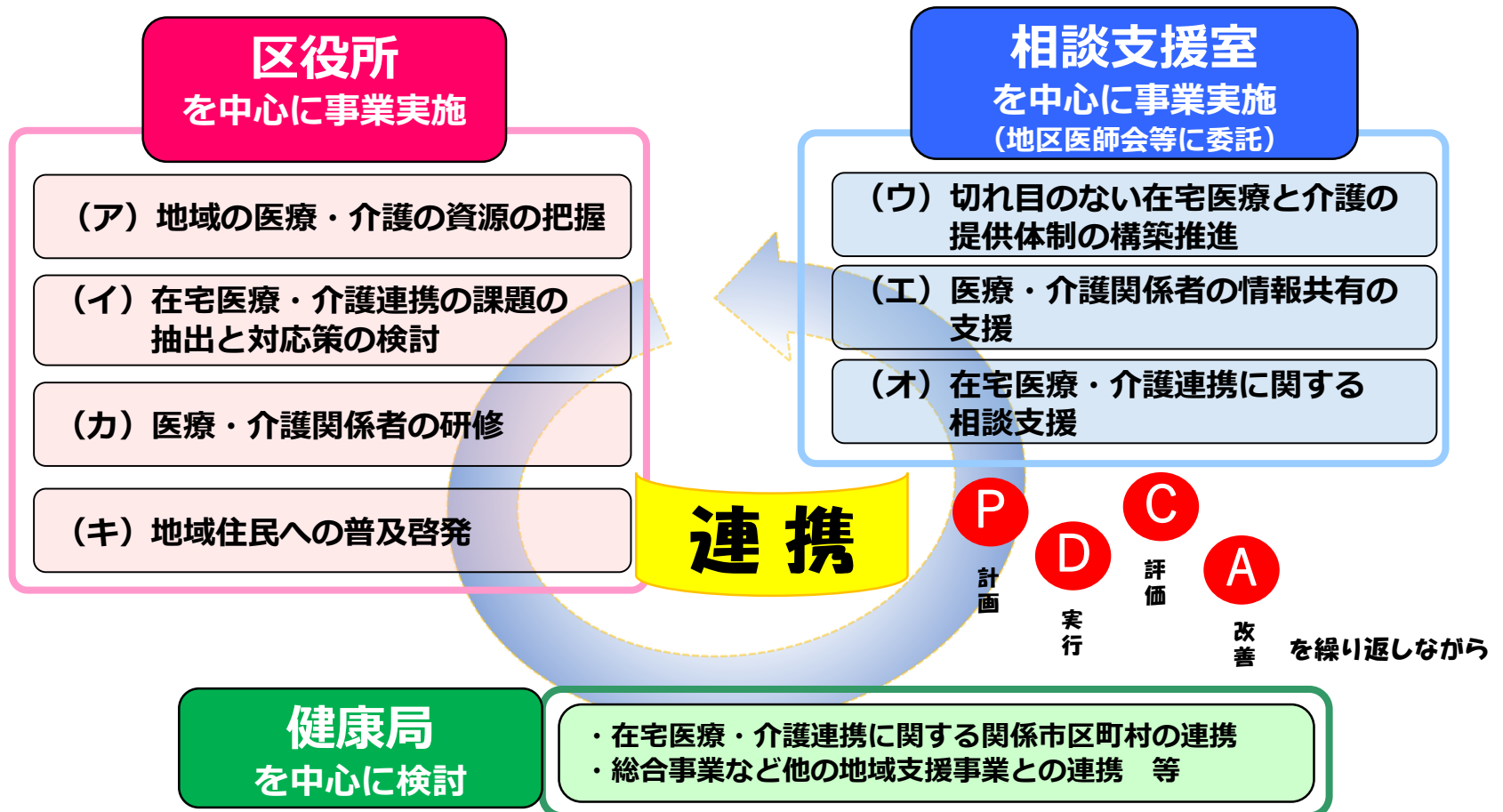
令和4年度

在宅医療・介護連携推進事業 取組み状況について

在宅医療・介護連携推進事業～大阪市の取組み～

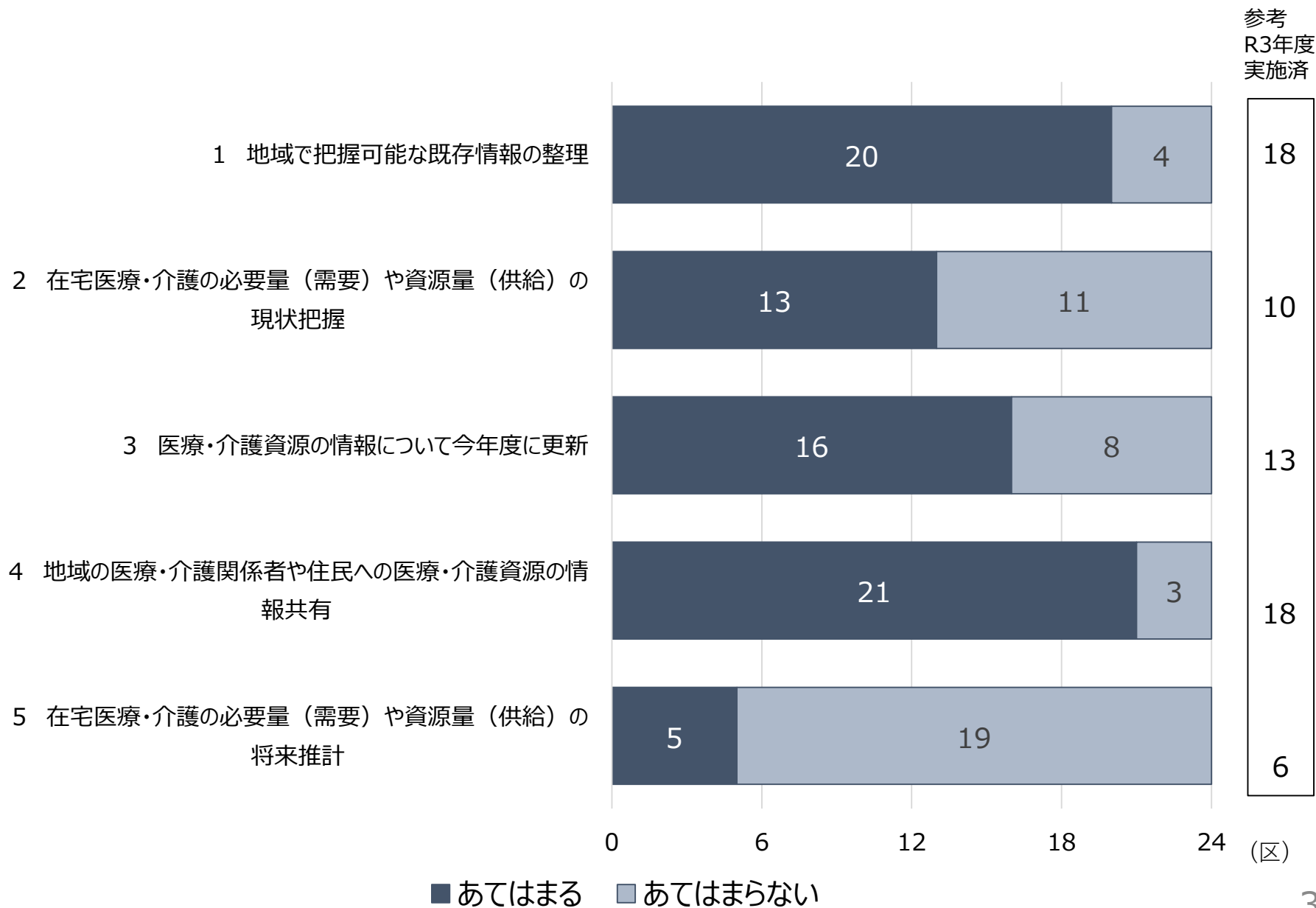
在宅医療・介護連携推進事業大阪市の取組み体制

～ 「PDCAサイクルに沿った取組項目」 ～



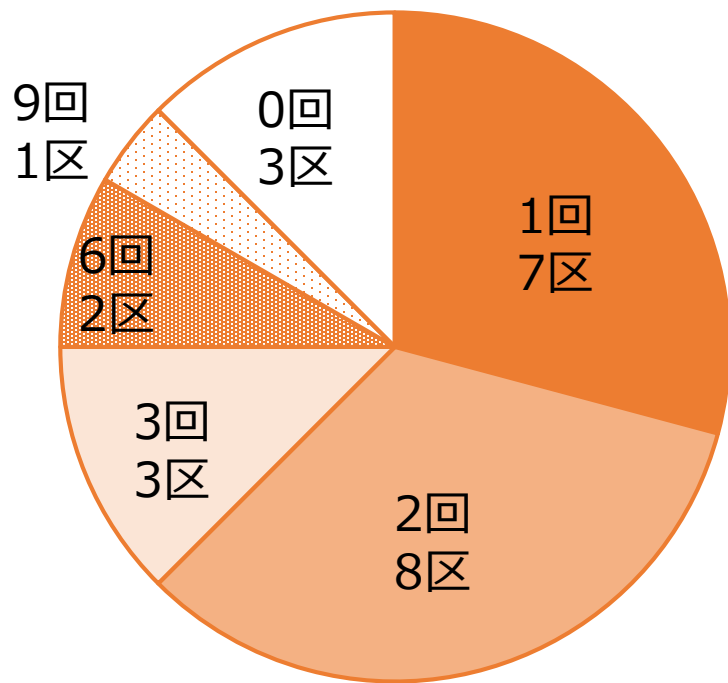
I . 区役所の取組み

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握



(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

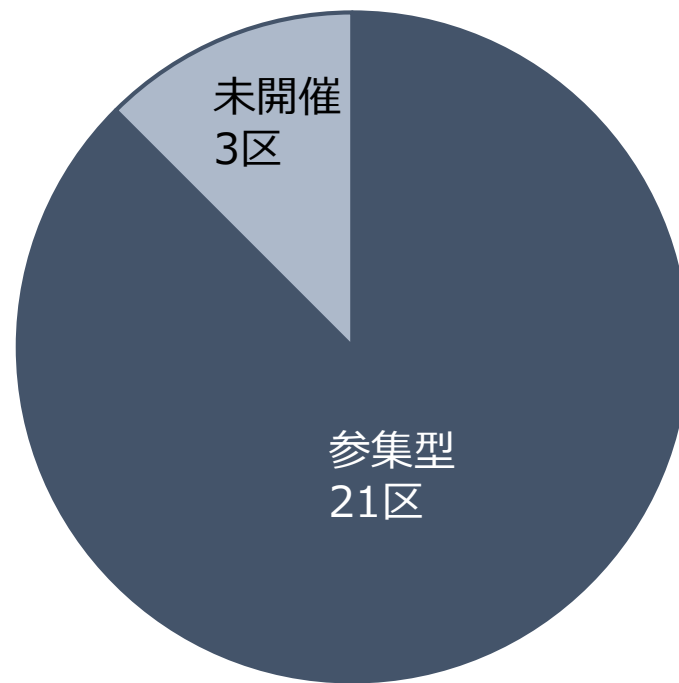
事業の進捗や課題について協議した回数



【開催した区数について】

令和3年度：17区
⇒令和4年度：21区

会議の開催方法



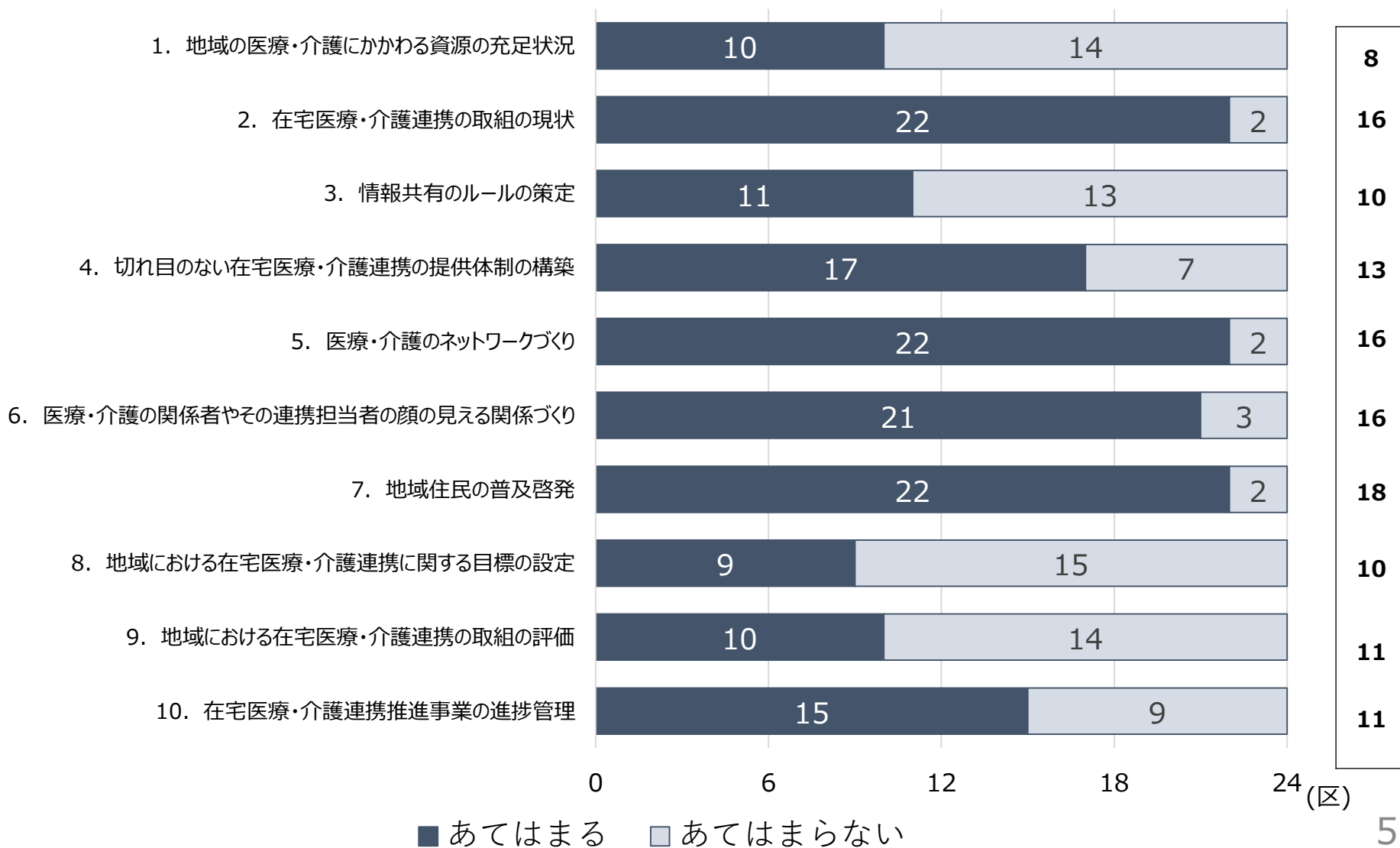
【参加型で開催した区数について】

令和3年度：6区
⇒令和4年度：21区

(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

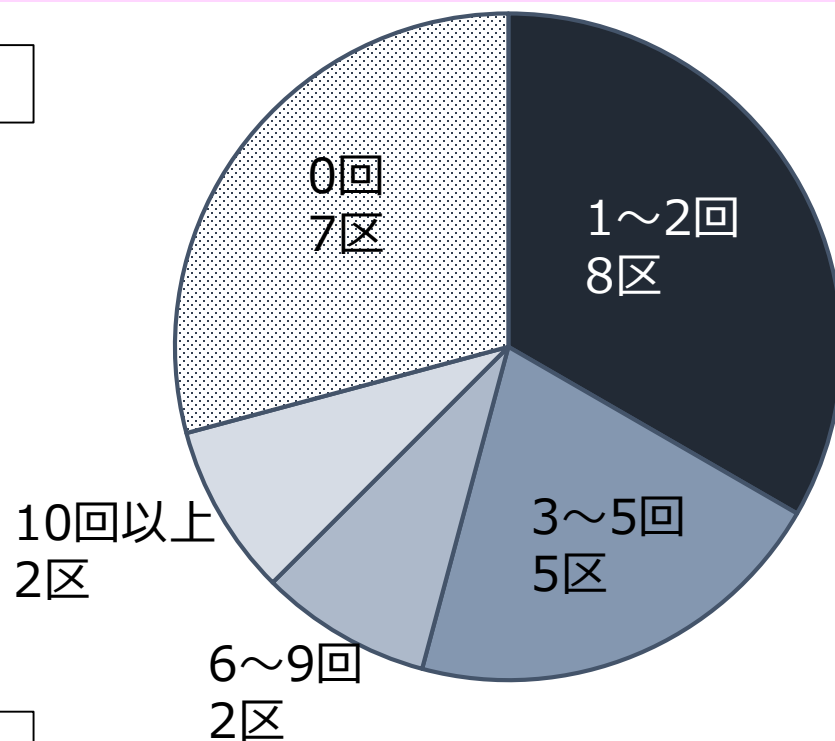
推進会議（ワーキング含む）で検討した内容

参考
令和3年度
検討済

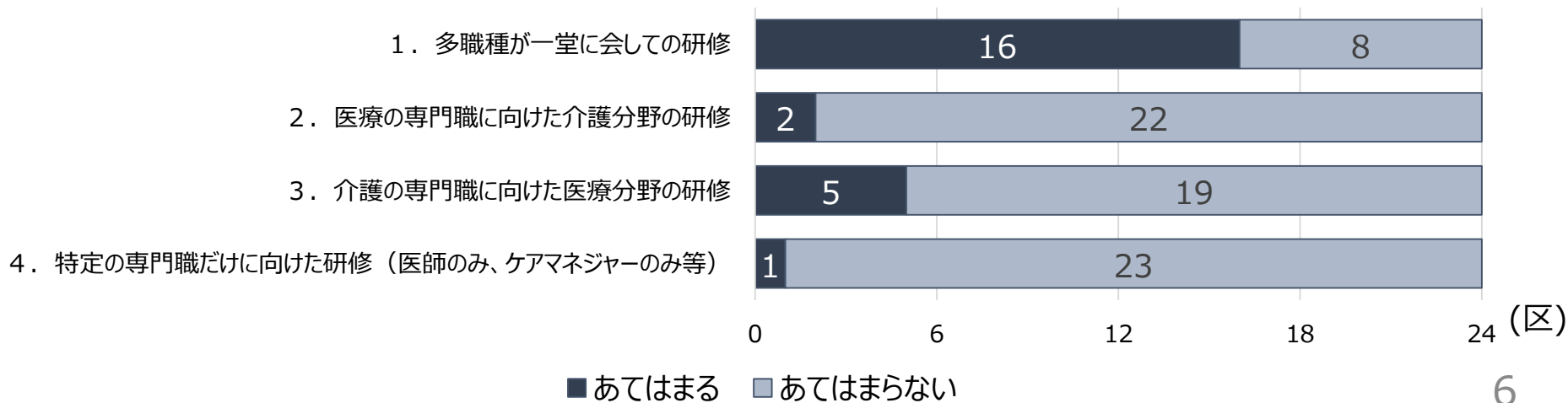


（力）医療・介護関係者の研修

研修会の実施回数



研修会の対象者



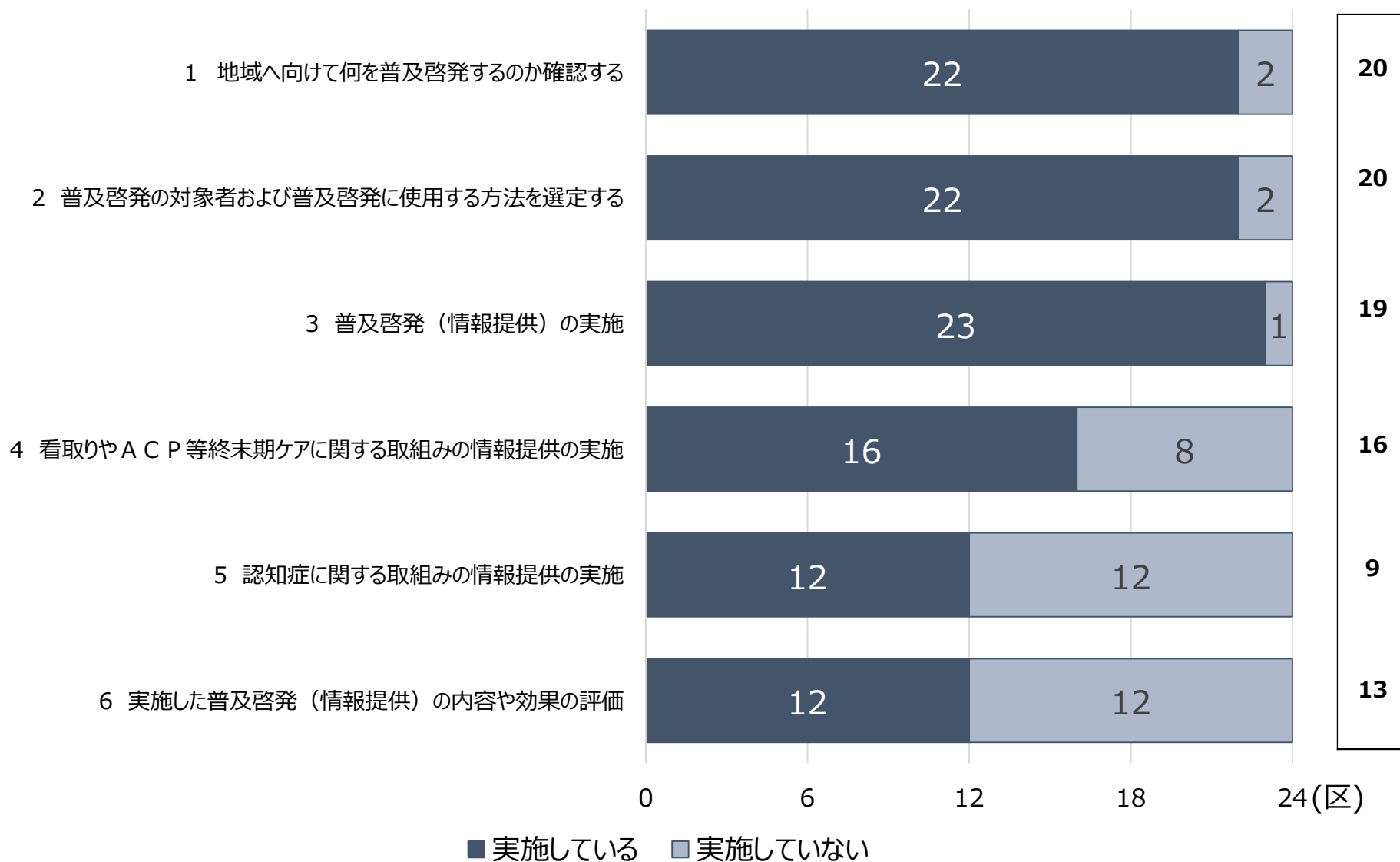
(力) 医療・介護関係者の研修

研修会のテーマ

ACP	・ 終末期に備えた意思決定支援ACP（人生会議、在宅医療と人生会議について） ・ 「あなたがもしもの時は」カードゲームで考えてみよう ・ 認知症の人とともにACPを考える ・ 意思決定支援（ACP）普及推進サポーター養成講座
認知症	・ 認知症の方の生活の中での意思決定支援 ・ 認知症がなかなか受容できない家族の支援について ・ コロナ禍2年、地域医療における認知症への影響
医療	・ 多職種で支える 脳卒中の方の暮らし ・ 歯周病と全身疾患とのつながり、訪問歯科に繋ごう ・ 入退院を繰り返す心不全患者の連携を考える
食生活	・ 食べることは生きること研修会「歯科医師・歯科衛生士編」 ・ 食べることは生きること研修会「薬剤師編」
連携ツール	・ 情報が届かない人に必要な情報を届けるために自分たちは何ができるか
その他	・ 災害時における多職種連携 ・ 在宅医療における感染対策とKISA2隊の活動から見てきたこと

(キ) 地域住民への普及啓発

令和3年度
実施済



(キ) 地域住民への普及啓発

広報紙

9月号 NO.316

ひがしなりだより

9月号の主な記事

9月は高齢者健診月です

人生会議 してみませんか？

～私のおもいも伝えたい～

皆さん、こんにちは。私たちが暮らす社会は、高齢化が進んでいます。高齢者が安心して暮らせる社会を実現するためには、高齢者の生活の質を向上させることが重要です。人生会議は、高齢者が自分の人生の最終段階における医療・ケアについて、事前に考え、家族や周囲の信頼する人たちに伝え、意思を共有する取り組みです。人生会議を行うことで、高齢者の生活の質が向上し、家族や周囲の負担が軽減されます。

1 人生会議の目的を説明し、参加者を募集します。

2 人生会議の意義やメリットを説明し、参加者を募集します。

3 人生会議の進め方を説明し、参加者を募集します。

4 人生会議の進め方を説明し、参加者を募集します。

5 人生会議の進め方を説明し、参加者を募集します。

豊かな人生のために

2月号 No.321

みなと

2月号の主な記事

人生会議 ～アドバンス・ケア・プランニング(ACP)～

人生会議とは、高齢者が自分の人生の最終段階における医療・ケアについて、事前に考え、家族や周囲の信頼する人たちに伝え、意思を共有する取り組みです。人生会議を行うことで、高齢者の生活の質が向上し、家族や周囲の負担が軽減されます。

「知って？ ACP(人生会議)」

～50歳になったら考えよう～

人生会議は、高齢者が自分の人生の最終段階における医療・ケアについて、事前に考え、家族や周囲の信頼する人たちに伝え、意思を共有する取り組みです。人生会議を行うことで、高齢者の生活の質が向上し、家族や周囲の負担が軽減されます。

2月号 No.321

ひがしよどがわ

2月号の主な記事

認知症を運動で予防する

認知症は、高齢者の生活の質を大きく低下させる病気です。認知症を予防するためには、運動が効果的です。運動は、脳の血流を促進し、認知機能を向上させる効果があります。また、運動は、高齢者の生活の質を向上させる効果もあります。

認知症になっても 暮らしやすい場所を

認知症になっても、暮らしやすい場所を確保することが重要です。認知症になっても、暮らしやすい場所を確保することで、高齢者の生活の質が向上します。

9月号 NO.316

ふれあい JOTO

人生会議 してみませんか？

人生会議とは、高齢者が自分の人生の最終段階における医療・ケアについて、事前に考え、家族や周囲の信頼する人たちに伝え、意思を共有する取り組みです。人生会議を行うことで、高齢者の生活の質が向上し、家族や周囲の負担が軽減されます。

人生会議 してみませんか？

人生会議とは、高齢者が自分の人生の最終段階における医療・ケアについて、事前に考え、家族や周囲の信頼する人たちに伝え、意思を共有する取り組みです。人生会議を行うことで、高齢者の生活の質が向上し、家族や周囲の負担が軽減されます。

人生会議 してみませんか？

人生会議とは、高齢者が自分の人生の最終段階における医療・ケアについて、事前に考え、家族や周囲の信頼する人たちに伝え、意思を共有する取り組みです。人生会議を行うことで、高齢者の生活の質が向上し、家族や周囲の負担が軽減されます。

人生会議の進め方

人生会議は、高齢者が自分の人生の最終段階における医療・ケアについて、事前に考え、家族や周囲の信頼する人たちに伝え、意思を共有する取り組みです。人生会議を行うことで、高齢者の生活の質が向上し、家族や周囲の負担が軽減されます。

人生会議の進め方

人生会議は、高齢者が自分の人生の最終段階における医療・ケアについて、事前に考え、家族や周囲の信頼する人たちに伝え、意思を共有する取り組みです。人生会議を行うことで、高齢者の生活の質が向上し、家族や周囲の負担が軽減されます。

11月30日は「人生会議」の日！

人生会議とは、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)の愛称で、もしものときのために、自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて前もって考え、家族や周囲の信頼する人たちに伝え、意思を共有する取り組みです。

人生会議について、より多くの方に知っていただくため、講演会を開催します。

日時 11月30日(水)14時30分～16時

場所 区民センター 小ホール

講師 北田 博一氏(医療法人共済会付医師 院長)
佐藤 貴之氏(医療法人共済会付医師 院長)

対象 市内在住・在勤の方 **定員** 100名(当日先着順)

問合せ 保健福祉課(健康づくり) 1階11番 ☎6915-9882

研修会・講演会

講演会のお知らせ
～自分らしく
生きていくために大切なこと～

参加費無料
申し込み不要
定員 150名
(先着順)

【日時】 令和5年 3月4日(土)
14:00～16:00

【会場】 阿倍野区役所2階大会議室
(阿倍野文庫の裏1-1-40)

※お車でのご来場はご遠慮ください

在宅医療・介護についての講演会

「アドバンス・ケア・プランニングを一緒に学びましょう。」
(講師：近江幸三氏 養護医療法人梅村内科内科主任 梅村 昌之氏)

梅村 昌之 先生プロフィール
近江幸三氏 養護医療法人梅村内科内科主任
近江幸三氏 養護医療法人梅村内科内科主任
近江幸三氏 養護医療法人梅村内科内科主任
近江幸三氏 養護医療法人梅村内科内科主任
近江幸三氏 養護医療法人梅村内科内科主任
近江幸三氏 養護医療法人梅村内科内科主任
近江幸三氏 養護医療法人梅村内科内科主任
近江幸三氏 養護医療法人梅村内科内科主任
近江幸三氏 養護医療法人梅村内科内科主任
近江幸三氏 養護医療法人梅村内科内科主任

阿倍野区役所 阿倍野区保健福祉センター (池田保健) TEL 06-6622-9062

入場無料

生野区 認知症・在宅医療 シンポジウム

～みんなで取り組み・変え合う～

認知症になっても、病が平穏になることも、生き残りの希望を安心して
家族の人や医療関係者と共に、みんなで変えよう！ぜひ力を一緒に
使えてみませんか？



日 時

令和 5 年 3 月 11 日 (土)

14:00～16:30 (開場 13:30)

場 所

リゲッタ IKUNO ホール (生野区民センター内)

※ 無料です。平日通勤の生野区民センターの休館日です。

定 員

300人

参加費無料

第1部

シンポジウム「コロナ禍での生野区での取り組み報告」

生野区立病院の「在宅医療連携」の取り組み、生野区立病院の「認知症対応型老人共同生活施設」の取り組み、生野区立病院の「認知症対応型老人共同生活施設」の取り組み

第2部

講演会「マスク社会の今だからこそ！お口のケア」

講師 山崎 大祐(大阪府立歯科大学 歯学 山口平重子)

**在宅医療・介護連携推進事業
多職種連携の為に研修会**

演題 平時からのつながりと福祉防災

講師 大阪公立大学 都市科学・防災研究センター
教授 野村 恭代 様

日時 令和4年 **10月28日**(金)
午後2時～午後4時

場所 淀川区役所5階会議室※aWEB・TEAMSに参加
※ハイブリット方式で開催

内容 講師によるご講演・質疑応答
各関係機関との意見交換

★新型コロナウイルス感染症予防のため、会場消毒を実施します。
会場参加の方はマスク着用、手洗い消毒、検温、換気にご協力をお願いします。

【申込み・お問い合わせ】
淀川区保健福祉センター 保健福祉課 健康づくり
(淀川区役所2階22番)
電話 06-6308-9882

主催：淀川区保健福祉センター
共催：淀川区在宅医療・介護連携推進会議
淀川区役所市民協働課（防災担当）

令和4年度 認知症等高齢者支援地域連携事業、大塚市大正区など医療・介護連携推進事業・多職種研修会

認知症の方の生活の中での意思決定支援

大塚市の医療・福祉関係、認知症
支援センター、DM、介護福祉
みんなでの連携研修会

講師：NPO法人認知症の人と人のサポートセンター代表
沖田 裕子
司会：大塚市大正区福祉課 理事
鈴木 昇平



大正区では認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを推進しています。
今年度は沖田裕子先生をお招きして、認知症の方の生活の中での意思決定支
援について実践的な研修会を行います。
ご多用とは思いますが、ぜひご参加下さい。

日 付 令和4年7月25日(月)
時 間 14:00～16:00
場 所 株式会社藤井組 大正会館 ホール
zoomミーティング (定員 30名)



2009年
参加予定

主催：大塚市大正区役所・大塚市大正区医師会
共催：大塚市認知症高齢者支援ネットワーク連絡会
大正区在宅医療・介護連携推進委員会



大塚市大正区役所 保健福祉課 (担当：堀柳)

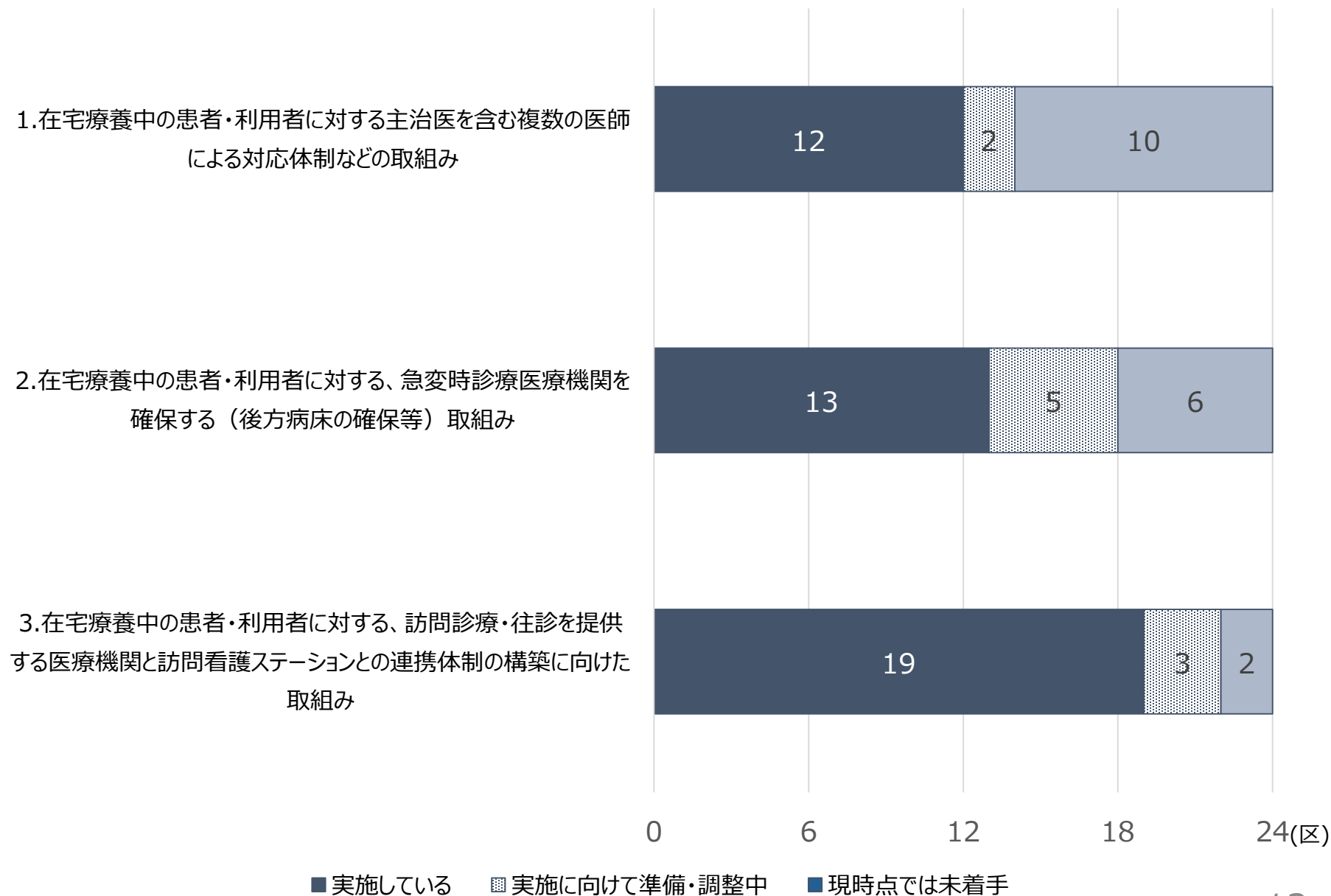
お問合せ 大塚市大正区役所 保健福祉課 (担当：堀柳)
電話 06-4394-9882
お申込み 大正区在宅医療・介護連携相談支援室 (担当：堀川・川上)
電話 06-6551-2545



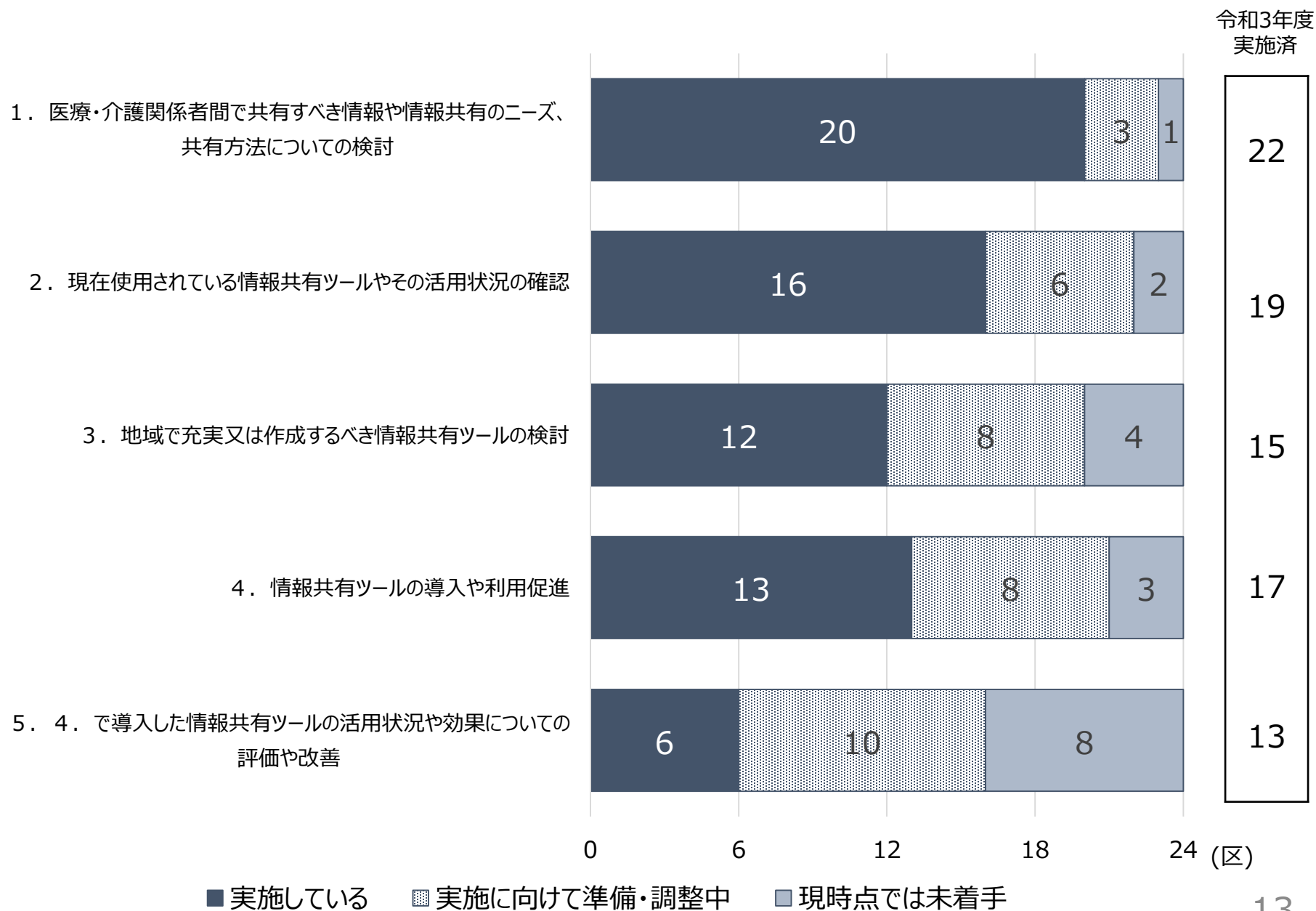
申込フォーム

Ⅱ．相談支援室の取組み

(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進



(工) 医療・介護関係者の情報共有の支援

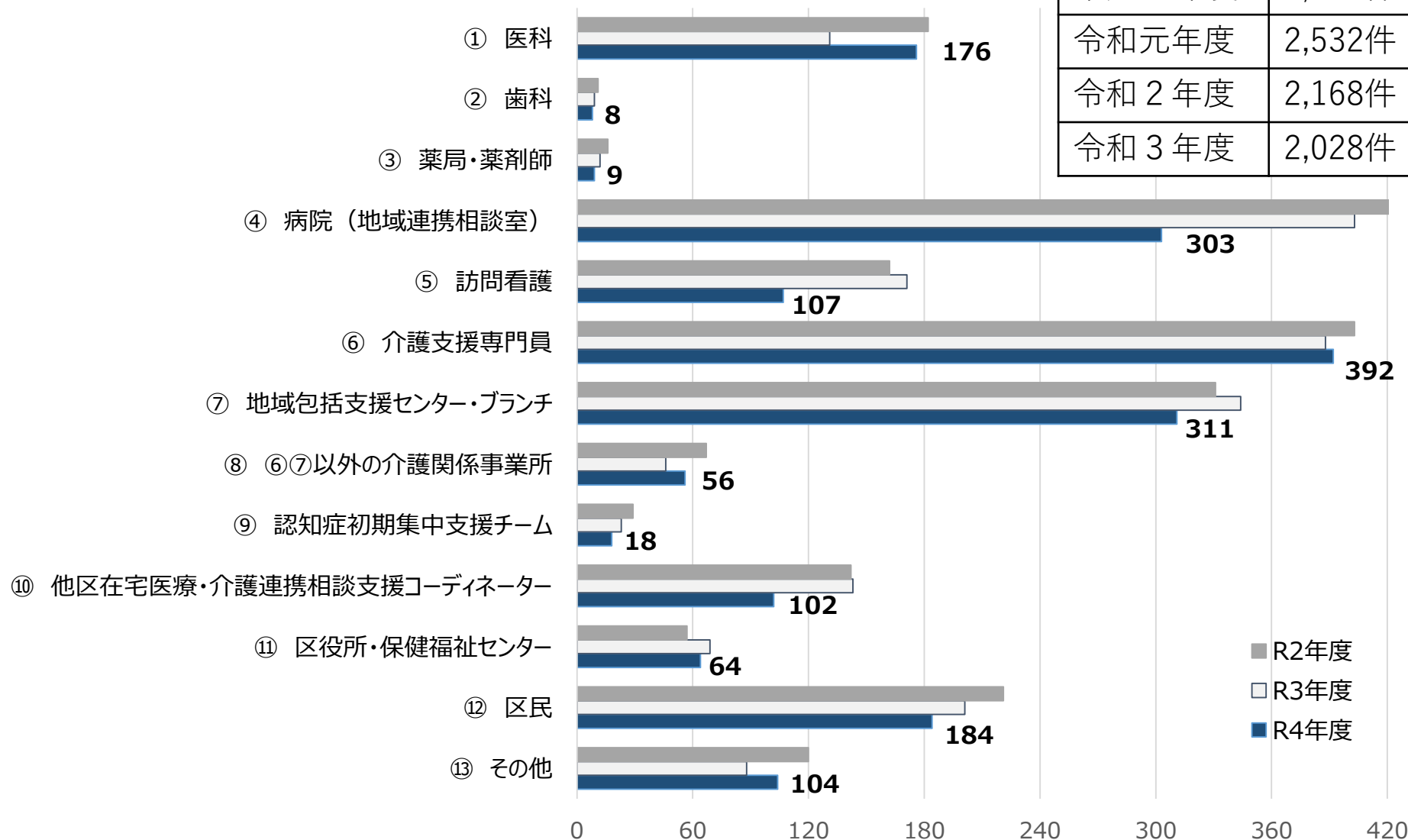


(才) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

個別ケース相談（相談者別内訳） 相談件数 1,834件

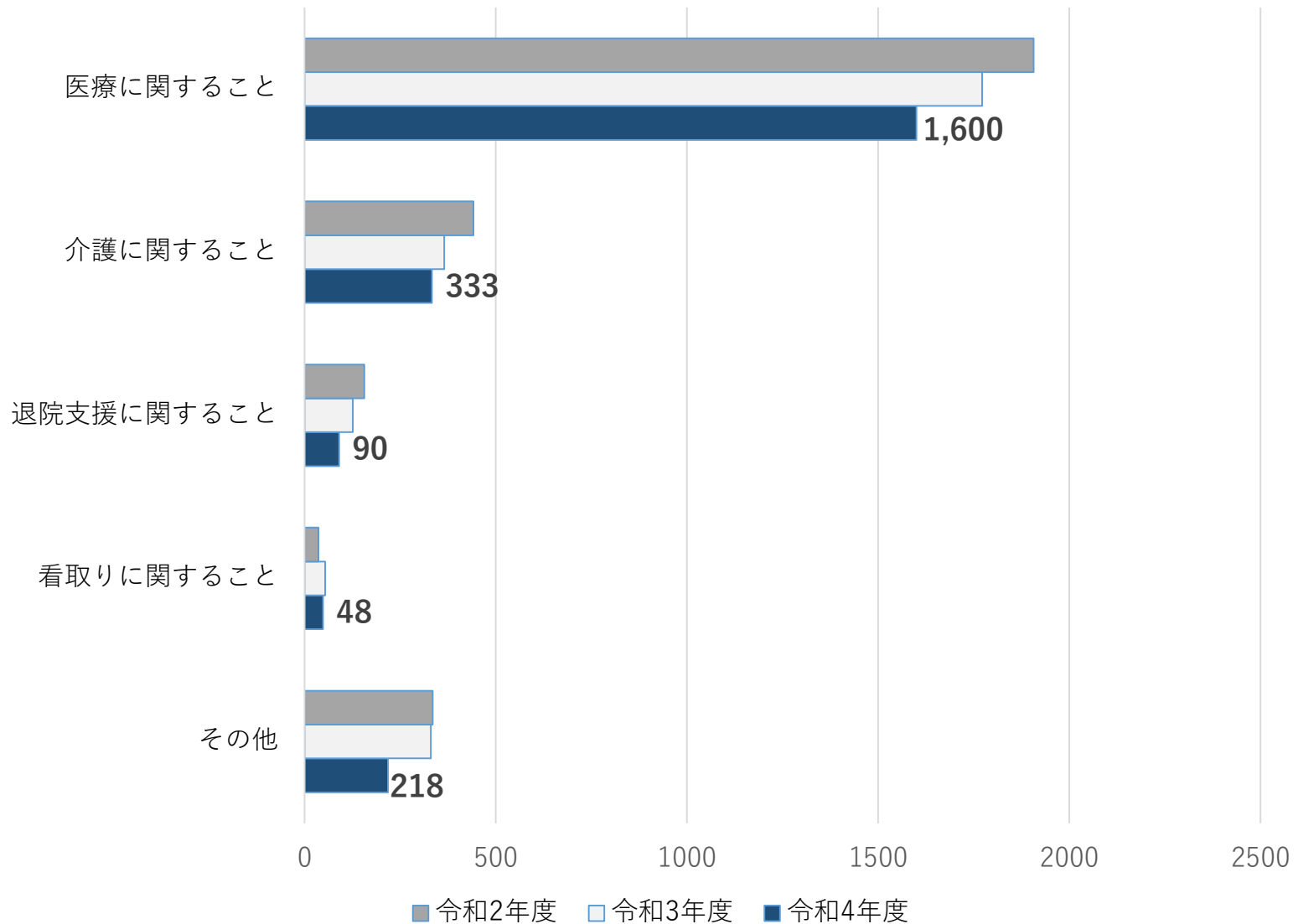
【相談件数】

平成30年度	2,554件
令和元年度	2,532件
令和2年度	2,168件
令和3年度	2,028件

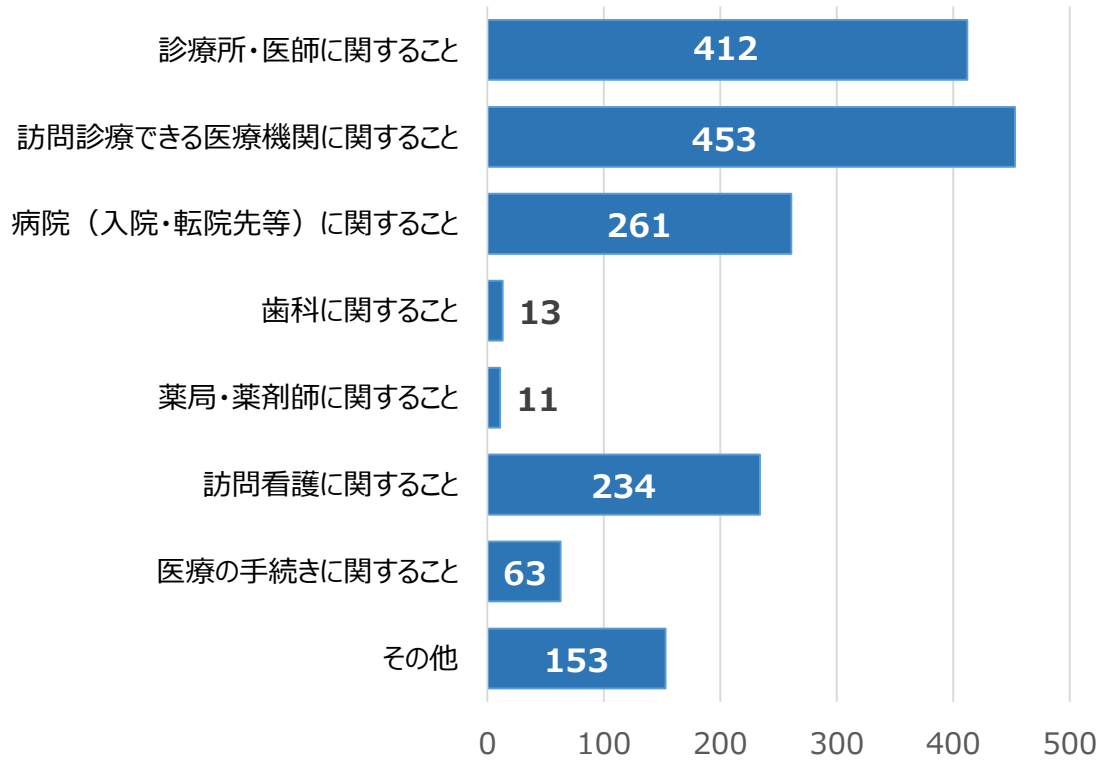


病院（地域医療連携室）、介護支援専門員、地域包括支援センターからの相談が多い

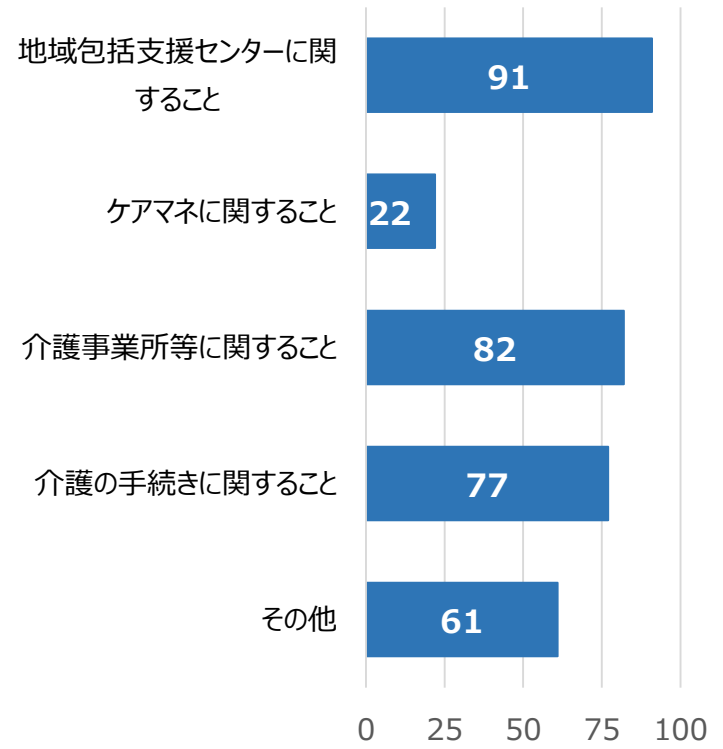
個別ケース相談（相談内容別内訳：複数回答）



【医療に関すること（内訳）】



【介護に関すること（内訳）】



会議・研修会等への参加

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
会議出席回数		2,012	2,120	579	1,896	2,213
内訳	市・区の会議、研修会	721	727	186	615	778
	関係機関との会議、研修会	1,291	1,393	393	1,162	1,435
	（再掲）地域ケア会議	196	144	42	130	143

Ⅲ. 区役所・相談支援室 共通の取組み

4つの場面ごとの「めざす姿」

在宅医療と介護連携イメージ（在宅医療の4場面別にみた連携の推進）



「4つの場面」を意識した取り組み状況について

【具体的な取り組み】

日常の療養支援

- エチケット集（れんけいのチカラ）を作成し、スムーズな連携に繋げる
- 認知症の人等の介護者（家族）支援について、専門職と一緒に話し合い、啓発ビデオを作成した
- 生活支援課とケアマネジャーとの連携についての意見交換、在宅支援のための多職種連携強化のためのケアカフェ開催した

入退院支援

- 緩和ケア病棟の病院と訪問診療医との「緩和医療連絡会」の立ち上げに参加。2回開催し医師間の顔の見える関係づくりで連携を深め、末期患者の身近なレスパイト入院先としての周知ができた
- 病診連携委員会を定期的で開催しており、区内診療所と近隣病院関係者で情報及び意見交換を行っている

急変時の対応

- 若い末期癌患者の緊急一時退院の相談が社協からあり、地域のケアマネジャーと福祉用具業者の協力で介護ベットの搬入ができ1泊だけ自宅に戻ることができた
- 救急搬送時の救急隊との連携について多職種と救急隊との意見交換会を開催した

看取り

- ACP初の啓発としてVR看取り体験研修会を開催、専門職に看取られる立場を体感して頂き、今後の支援を考えて頂く機会とした
- 区民向け講演会で「コロナ禍と人生会議」を開催した
- ACP推進サポーター養成講座の運営を支援した